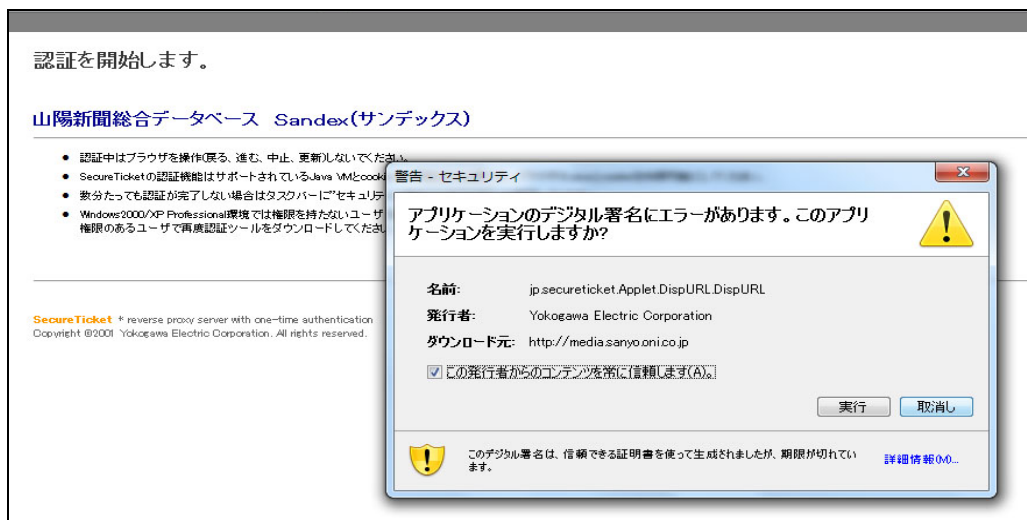


サンデックス 認証型（一般ユーザ向け）セットアップ手順書

1. メール等でお送りした認証キー（3つのファイル）を、USBメモリやフロッピー等に入れてください。**フォルダの中に入れると認識できないため、ドライブ直下に入れて書込み可にしてください。**
2. パソコン（Windows2000, XP, Vista, Window7）でインターネットに接続し、<http://www.java.com/ja/> から Java をダウンロードしてインストールしてください。（すでにインストール済みの場合はインストールは不要です）
3. 1項で用意した認証キーをパソコンにセットし、山陽新聞ホームページの上部メニュー右側にある「Sandex（IP型・認証型）」の「認証型」をクリックするか、URL <http://media.sanyo.oni.co.jp/> を直接入力してください。
4. Java が正常にインストールされ、ネットワーク環境に問題がなければ下記画面が表示されます。デジタル署名のエラー（期限切れ）が表示されますが、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します」にチェックを入れ「実行」ボタンを押してください。



5. 正常に認証が完了するとサンデックスのトップ画面が表示されます。



4項「認証を開始します」の画面から変わらない場合は Java が正常にインストールされていないかネットワーク環境に問題があると思われます。「Ticketが見つかりません」が出る場合は認証キーが正しくセットされていません。接続できない場合は次ページQ & Aを参照していただき、それでも不可の場合は下記まで連絡願います。

連絡先： 山陽新聞社 読者局読者センター 086-803-8094 平日10時～17時

サンデックス接続時のQ & A

- 「認証を開始します」の画面から変わらない。
Java が正常にインストールされていないか、ウィスル関連のセキュリティ対策ソフトで通信をブロックされています。
- 「I/O エラー」が表示される。
認証キーの読み書きができません。認証キーの格納している媒体を書き込み禁止にしているか、書き込みに管理者権限が必要な場合はこのエラーが表示されます。書き込み可能にして使用してください。
- 認証キーはハードディスクに格納できますか。
使用しているユーザー権限で読み書きが可能なハードディスクであれば、ドライブのルートディレクトリに格納が可能です。ただし管理者権限でなければアクセスできないドライブ（Vista や Windows7 等の C ドライブ等）の場合は格納できません。
- 認証キーはコピーできますか。
媒体が劣化した等でコピーすることは可能ですが、最後に使用した認証キーのみが有効になります。具体的には

 認証キー（原本） → 認証キー（コピー 1）
 → 認証キー（コピー 2）※このキーでサンデックスにアクセス
 → 認証キー（コピー 3）

と 3 つのコピーを作り、コピー 2 を使用してサンデックスにアクセスすると、コピー 2 以外のキーは原本を含めすべて無効になります。
- 複数のパソコンで使用したい。
認証キーを USB メモリに格納し、サンデックスを使用したいパソコンにセットして使用すれば可能です。複数台同時使用や他の事業所での使用は必要数分のご契約をいただく必要があります。
- 認証キーを紛失したり壊したりしてしまった。
ご契約者様には認証キーを無償にて再発行します。原則としてメールにて送付します。古いキーは再発行と同時に使用不可となるため、旧認証キーの返却、消去等は不要です